

頸城区 39号 2020・10 地域協議会だより

発行 頸城区地域協議会
編集 頸城区地域協議会事務局
(頸城区総合事務所
総務・地域振興グループ)
☎ 530-2311 FAX 530-2001

第5期の頸城区地域協議会がスタート！ 新委員からのご挨拶

「地域の問題解決に向けて」会長 井部 辰男(岡増田)

当区に於いても、さまざまな地域課題が山積しています。こうした地域課題を掘り起し、議論し、課題解決に向けた地域の意見をまとめ、その意見を市長に伝えるのが地域協議会の役割であります。これからも地域の皆さんと共に課題解決に向けた取組を進めてまいります。ご理解とご支援をお願い申し上げます。

「元気ある地域を目指して」副会長 上村 闔一(森本)

地域社会を取り巻く環境、市の人口減少、公の施設の再配置計画等々、行政だけではなく地域住民の意見を集約し、頸城区を元気にする地域協議会としての役割の中で「歴史を踏まえて」頸城区の発展に関わりたいたいと思っております。

「地域協議会委員になって」小川 泉(下吉)

委員になり早くも5か月が過ぎ、今その重責を感じています。地域活動支援事業の採択を始め地域のことの知らなさを感じております。

これから皆様と共に地域の活性化につながる活動を行い、住みよい頸城区になるよう委員の皆様方と精一杯貢献し努力していきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

「本気度をもって」笠原 昇治(下吉)

2期8年地域協議会委員として、なんとかかくびきを元気にしようと取り組んで来ましたが、多くの時間を地域活動支援事業の採択に取られ、本来の議論が出来ず反省ばかりです。

今年は「本気度」を持って、熱い思いのある仲間と時間を気にせず、「仕掛人」として大池ビジターセンターで夜なべで議論したいと思っております。

「委員として為すべきこととは」佐藤 学(下吉)

1期目を終え、2期目をさせて頂くこととなりました。

私たちは地域の方々に寄り添い、地域の方々からの意見や声を聞きながら、まちづくり活動を活性化させることと、行政との橋渡し役となり連携や協力を図りながら、「自主自立のまち」の実現に向けてできることをやっています。

「新たな道を求めて」佐野 喜治(大柳)

今回の新型コロナウイルスは何時になったら収束するのでしょうか？先が見えません。生活様式が変わると言われています。地域協議会委員として私も3期目を迎えました。

まちづくりに正解はないようですので過去にとらわれることなく、一旦リセットして全くの白紙状態から道なき道を進む所存です。

「地域協議会に参加して」新保 哲男(花ヶ崎)

コロナ禍のなか感染防止対策を行いながら協議会に参加して半年がたちます。この半年間は地域事業に関する協議が主な活動になりますが、頸城区内でも様々な行事が行われていることに少し驚いています。

地域の課題については、これから経験することになりますが、自分なりに勉強して地域に貢献したいと考えます。

「頸城にこだわり続ける」滝本 篤透(百間町)

2期目は頸城区の在り方、頸城らしさとは何かを見つめる機会にできればと考えております。

私自身は、頸城村時代に培った多くの経験が育ててくれたものと感謝していますので、今一度頸城の人・資源・歴史を見つめる好機として日々学習したいと思いますし、微力ながら多くの皆様と関わり合い新たな頸城の活性化の手助けができればと考えています。

「身近な地域協議会を目指して」西巻 肇(大蒲生田)

1期4年の活動を終え、地域との距離が以前より拡大している感じました。傍聴席も支援事業関連を除けば空席ばかりです。なぜ、関心を持ってもらえないのか、要因は、改善するには、委員としてできることは、初心に立ち返り、地域の皆さんと共により良い頸城を目指して努力してまいります。

「二期目を迎えての抱負」船木 貴幸(美しが丘)

前期は初めてだったため、恐る恐る委員会の空気を探りつつの4年間でした。

2期目となる今期は、新型コロナウイルスによる新しい生活様式の中、思うような活動が制限されると思いますが、何か1つは頸城区のためになる様なことを残せる4年間にしようと思っております。

「変化をください」 宮澤 房子（上増田）

進歩と変化の乏しい中から何が生まれるのでしょうか。1期4年位でメンバーチェンジをして沢山の方に地域協議会委員の経験をしていただきたいです。若さと新しさに目を向けずして明日への想いを何にゆだねたら良いのでしょうか。変化と若さと豊かさが欲しいです。新しい風を流してください。

「地域協議会に思うこと」望月 博（上三分一）

新しい委員も加わったので、区の課題や市からの諮問に対して新しい風を吹かせてもらいたい。全て解決できなくても、道筋や方向性くらい出していききたいものである。地域活動支援事業にしても、その在り方から見直しの時期に来ていると考え、この4年間は重要な年月になる。

「頸城区発展のために」 山本 誠信（松橋）

地域協議会は、市長の諮問機関としての役目と課題解決に向けて、地域の声を委員の皆さんと解決方法を取りまとめ市政に反映していければと微力ながら努力してまいります。

「地域協議会は地域の（頸城区）活性化を強く考えることが大切」 横山 一雄（下三分一）

多くの団体・町内会・先輩方々のご意見を頂き、参考にしながら地域協議会に意見を提出したいと考えています。出前協議会は大事なことで、自主的審議にも大いに参考になると思います。地域活動支援事業の採択方針の見直しが審議されており、有意義に活用していただくために、丁寧に意見交換を行ってまいります。

■部会構成

■総務・地域振興部会（7名）

【座長】 笠原 昇治委員

上村 閨一副会長・西巻 肇委員

小川 泉委員・船木 貴幸委員

新保 哲男委員・山本 誠信委員

■教育・福祉部会（7名）

【座長】 佐野 喜治委員

井部 辰男会長・宮澤 房子委員

佐藤 学委員・望月 博委員

滝本 篤透委員・横山 一雄委員

その後、採点の参考にするために、地域協議会委員による全員協議会を行い、基本審査及び採択方針との適合性について協議を行いました。

令和2年度の頸城区地域活動支援事業の補助金配分額が720万円（前年度に比べ10万円増）に決定したことを受けて、当初募集期間を4月1日から4月24日までの2週間としました。しかし、その後、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を検討する期間を考慮し、募集期間を2週間延長して5月8日までとしました。

地域活動支援事業提案事業のプレゼンテーションと審査の結果について

地域協議会の取組

■6月5日 第2回地域協議会

第2回協議会後の協議会委員の採点結果にもとづき、点数の高い団体順に補助採択することとし、13団体については補助希望額の満額。順位14番目となった申請団体は、一部減額で採択しました。残る2団体については、採択点数に及ばず不採択となりました。

なお、採択審査にあたり地域活動支援事業の在り方について議論となったことから、次回以降協議することになりました。

地域活動支援事業提案事業の採択方針について

■7月29日 第4回地域協議会

採択審査の際の論点整理を行い、他自治区の補助対象外事業・経費の確認や頸城区及び全市における小中学生のスポーツ活動の提案に対する採択状況等も参考にして採択方針について、協議を行いました。

意見は、採択基準の変更の有無を含め多岐に渡ったため、委員の意見を集約しそれをもとに資料として次回の協議を行うことになりました。

■8月26日 第5回地域協議会

地域活動支援事業の採択方針については、地域の皆さんと意見交換をする機会を設けた後、再度協議することになりました。

また、行政改革推進課から公の施設の再配置計画について説明を受けた後、明治野球場とユートピアくびき希望館浴室の在り方について所管課から現状と課題について説明を受けました。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響で地域活動支援事業が中止または変更となった場合は、直近の地域協議会に報告する取り扱いを定めました。

新型コロナウイルス感染症 対策と地域協議会委員任命 書交付式

任期満了による地域協議会委員の改選が実施され、頸城区は定数が16人から14人に変更になりました。

任命書の交付式は、これまで全区の委員が一同に介し行われてきましたが、今回は新型コロナウイルス感染症対策のため各区単位での実施となり、頸城区では会場を広くとれるユートピアくびき希望館を会場とし

し、マスク着用のうえ、手指の消毒、委員間の距離を保ちながら実施しました。

大池・小池の観光資源としての 利活用について

地域協議会の出前トークを契機に、4年にわたり協議を重ねてきた、「大池・小池の観光資源としての利活用計画」がまとまりました。

平成7年のオープン以来、長きにわたり青少年の研修施設として親しまれてきた「大池いこいの森ビジターセンター」は、本年4月からNPO法人頸城区観光協会に管理運営が委託されました。

今後は、大池・小池周辺の自然や施設を頸城区観光のシンボルとして、市内外に発信し、住民の皆さんはもとより、多くの方から活用していただくことを期待しております。



頸城区観光協会が管理運営するビジターセンター

地域協議会のうごき

■5月13日(水) 第1回地域協議会

- ・任命書交付式
- ・地域協議会の運営等について
- ・地域協議会の審議事項等について
- ・地域協議会だよりの諸事項について
- ・諮問案件における書面審議について
- ・令和2年度頸城区の主な事業について

■6月5日(金) 第2回地域協議会

- ・令和2年度地域活動支援事業について
(提案事業プレゼンテーション16件)

■6月17日(水) 第3回地域協議会

- ・令和2年度地域活動支援事業の採択について
- ・南川児童館の今後の在り方について



■7月29日(水) 第4回地域協議会

- ・地域活動支援事業の採択方針について

■8月26日(水) 第5回地域協議会

- ・公の施設の再配置について
- ・上越市明治野球場の在り方について
- ・ユートピアくびき希望館浴室の在り方について
- ・地域活動支援事業の採択方針について
- ・地域活動支援事業の内容の変更について

■9月30日(水) 第6回地域協議会

- ・地域協議会専門部会の設置について
- ・地域協議会委員と地域団体との意見交換会について
- ・送電線新設工事に係る進捗状況および工事予定等について
- ・明治野球場とユートピアくびき希望館浴室の在り方について

令和2年度頸城区地域活動支援事業 審査結果

令和2年度頸城区地域活動支援事業への提案は16件あり、審査の結果、14事業が採択されました。頸城区の配分額は720万円で、採択事業の補助金合計額も720万円となりました。

※採択された事業（受付順に記載）

単位：千円

事業名	団体名	事業内容	補助金額
市道頸城線等景観整備事業	くびき花の会	市道頸城線の花壇に花を植栽し管理をすることで、良好な地域社会の維持や景観を整備する。	554
事務機器の整備による住民サービス向上事業	特定非営利活動法人 くびき振興会	地域イベントや地域の情報発信などのために事務局のコンピューターシステム体制を整備向上させ、持続可能な地域づくりを推進する。	500
雁名城跡及びその周辺の史跡の保存、整備とPR併せ会員の知識の向上事業	雁名城跡保存会	雁名城跡及び周辺の史跡を整備保存するため、登山道の危険箇所を整備。謙信公祭の狼煙上げや大池まつりでの見学会を実施する。	949
くびき野レールパーク公開及び枕木交換工事公開事業	NPO法人 くびきのお室のこす会	軽便鉄道車輛の乗車体験や枕木を交換するイベント開催など、地域のお室を広くPRするとともに、地域の特性を活かしたまちづくりを推進する。	800
地域住民の健康増進対策事業（ノルデックウォーキング及び地域への出前講座）	NPO法人 ユートピアくびきスポーツクラブ	「ノルデックウォーキング教室」を開催し、生活習慣病等の予防、健康増進等を図る。また、町内会等で高齢者を元気にする出張教室を実施する。	430
冬期区民スポーツ大会開催事業（ソフトバレーボール、スマイルゲートボール、ファミリーゲートボール）	頸城体育協会	2～3月の降雪時期にソフトバレーボール等を開催し運動不足を解消するとともに、地区間や世代間の交流を図る。	150
幼年野球を通じた生涯スポーツ活性化と青少年の健全育成事業	頸城スポーツ少年団保護者会	ユニフォームや野球場整備の備品を配置し、練習環境を改善するとともに選手のモチベーションを向上し、地域のスポーツ活動を振興させる。	439
頸城区観光事業活性化を図るための音響機器整備事業	特定非営利活動法人 頸城区観光協会	イベント用の音響機器を使い、歌やダンス等のイベントや会議、読み聞かせなどを効果的に実施する。	240
外国人住民との新たな共生まちづくり事業	頸城区上吉町内会	プロジェクター、スクリーンを用意し、区内の企業に勤務し居住する外国人と防災訓練や日本語教室、交流会などを通年で効果的に実施する。	134
少年サッカー環境整備事業	くびき野FCジュニア保護者会	少年サッカーチームが名称を変更し再スタートすることから、新たにユニフォームを作り子どもたちの参加を増やし活動を活性化させる。	481
頸城区大池いこいの森ビジターセンター利活用事業	特定非営利活動法人 頸城区観光協会	大池いこいの森のパンフレットを作成しPRするとともに、イベント用のテントを購入し各イベントを開催して地域の活性化につなげる。	935
副読本「頸城鉄道物語 コッペルじいさんのひとりごと」製作事業	読み聞かせサークル ワンダーランド	頸城鉄道を題材とした紙芝居を基に本を作成し学校や図書館に寄贈するとともに、読み聞かせ活動の中で紹介しながら学習資料としてもらい、頸城区の歴史を子どもたちに伝えていく。	715
ヨモギ文庫復活プロジェクト事業～坂口謹一郎氏編～	ヨモギ文庫復活プロジェクト	坂口謹一郎氏の絵本を作成し、図書館、公民館、学校に寄贈するとともに、かつて上越地方にあった「ヨモギ文庫」という取り組みを現代版に復活させる。	188
坂口記念館を拠点とした「くびきの地力」活性化推進事業	特定非営利活動法人 くびき来夢ネット	坂口記念館で開催する講座等でプロジェクターを使用したり、各講座の様子をSNSなどで発信したりする。	685
合計			7,200

編集後記

春先からの新型コロナウイルスの感染拡大は、経済活動の縮小や雇用調整など社会・経済全般に大きな影響を与えております。一日も早い終息への道筋が求められるところであります。

さて、市町村合併を機に設置された「地域協議会」も、今年で15年目。5期目に入りました。

この間、当「地域協議会」では身近な地域課題の掘り起しと自主的審議を積み重ね、平成27年度と昨年度の2回、「地域を元気にするために必要な提案事業」を市長に提案してまいりました。

現在、昨年度採択された「大池・小池の観光資源としての利活用事業」の取組みを進めているところであり、事業の具体的な展開にあたっては、そこに住む住民の皆さんが中心となつた取組みが基本であります。是非、皆さんの参画をお願いいたします。

また、地域協議会の定数見直しが行われ、当頸城区地域協議会は定員が14名になりました。今期は、新人が3名選任されています。活躍に期待をするところであります。

今後とも、皆様の当地域協議会へのご指導・ご鞭撻を心よりお願い申し上げます。

（井部 辰男）